

人口減少や高齢化に対応した将来のまちづくりに関する調査結果

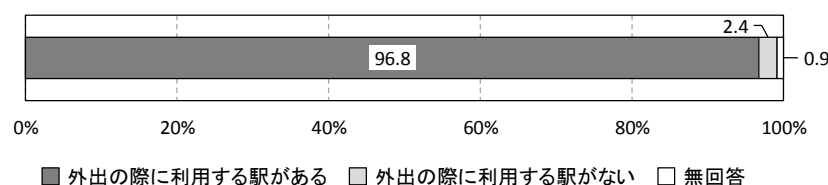
市政モニターの皆さまを対象に 2017 年 1 1 月に「人口減少や高齢化に対応した将来のまちづくり」についてご意見をお聞きしました。ご回答して頂いたモニターの皆さまには、厚くお礼申し上げます。

- 有効回答率：81.7%（有効回答者数：340 人）
- 有効回答者の構成割合について
 - 男性：40.3%、女性：59.7%
 - 20 歳代：5.0%、30 歳代：17.6%、40 歳代：20.6%、50 歳代：17.9%、60 歳代：20.6%、70 歳代：13.2%、80 歳以上：5.0%

【普段利用する駅について】

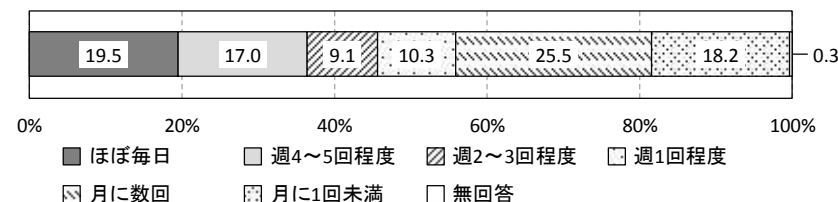
問 普段、ご自宅から外出の際に利用する駅はありますか。

外出の際に利用する駅の有無について、約 97%の人が「外出の際に利用する駅がある」と回答しています。



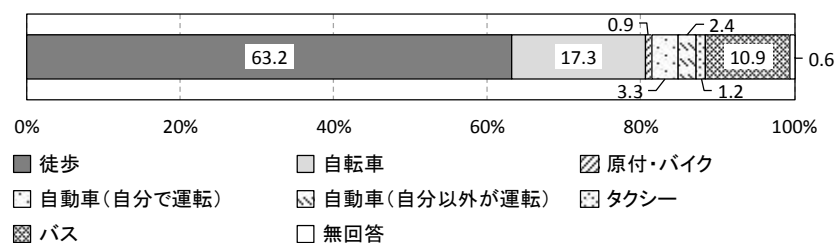
問 外出の際に利用する駅の利用頻度についてあてはまるものを選んでください。

駅の利用頻度について、最も多い回答は「月に数回」で約 26%となっています。次いで「ほぼ毎日」が約 20%となっています。



問 外出の際に利用する駅までの交通手段についてあてはまるものを選んでください。

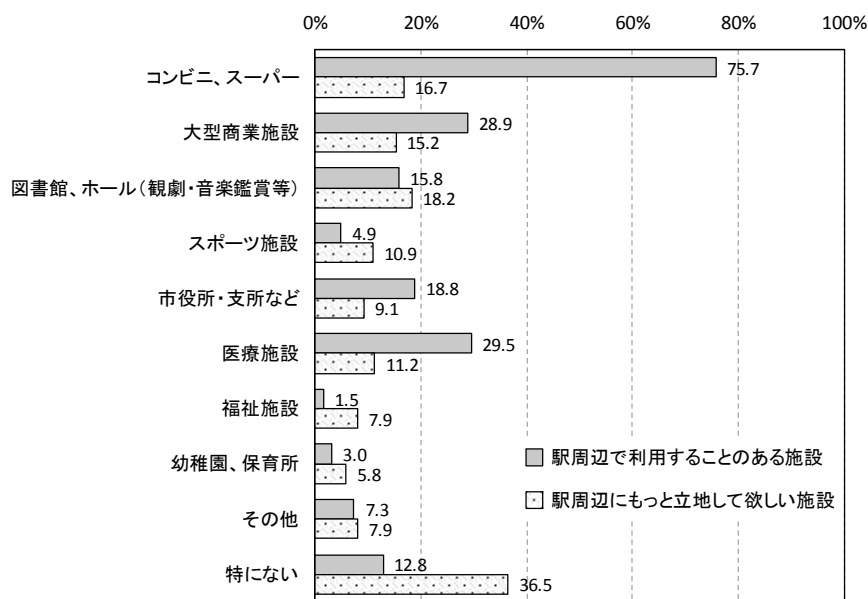
駅までの交通手段について、最も多い回答は「徒歩」で約 63%となっており、次いで「自転車」が約17%となっています。



問 外出の際に利用する駅周辺で利用することのある施設、駅周辺にもっと立地して欲しい施設についてあてはまるものを選んでください。（※複数回答可）

駅周辺で利用することのある施設について、最も多い回答は「コンビニ、スーパー」で約 76%となっています。

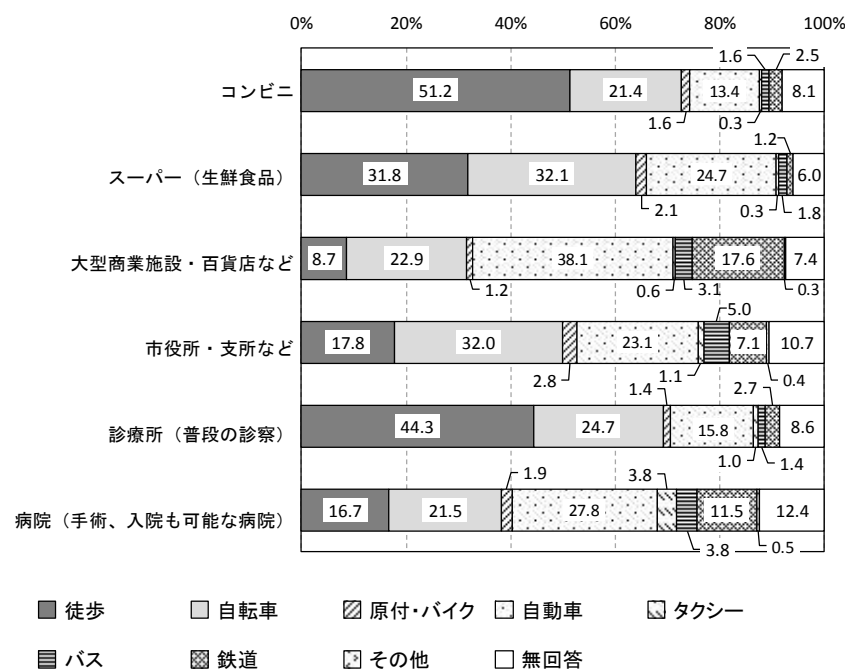
駅周辺にもっと立地して欲しい施設について、最も多い回答は「図書館、ホール（観劇・音楽鑑賞等）」で約 18%となっています。



【生活利便施設の利用状況及び立地について】

問 次の生活利便施設について、施設ごとに、「現在、その施設に行く際に利用する主な交通手段」を、選択肢の中から選択してください。

生活利便施設に行く際の交通手段について、「徒歩」の回答が最も多いのは、「コンビニ」で約 51%、「自動車」の回答が最も多いのは、「大型商業施設・百貨店など」で約 38%となっています。

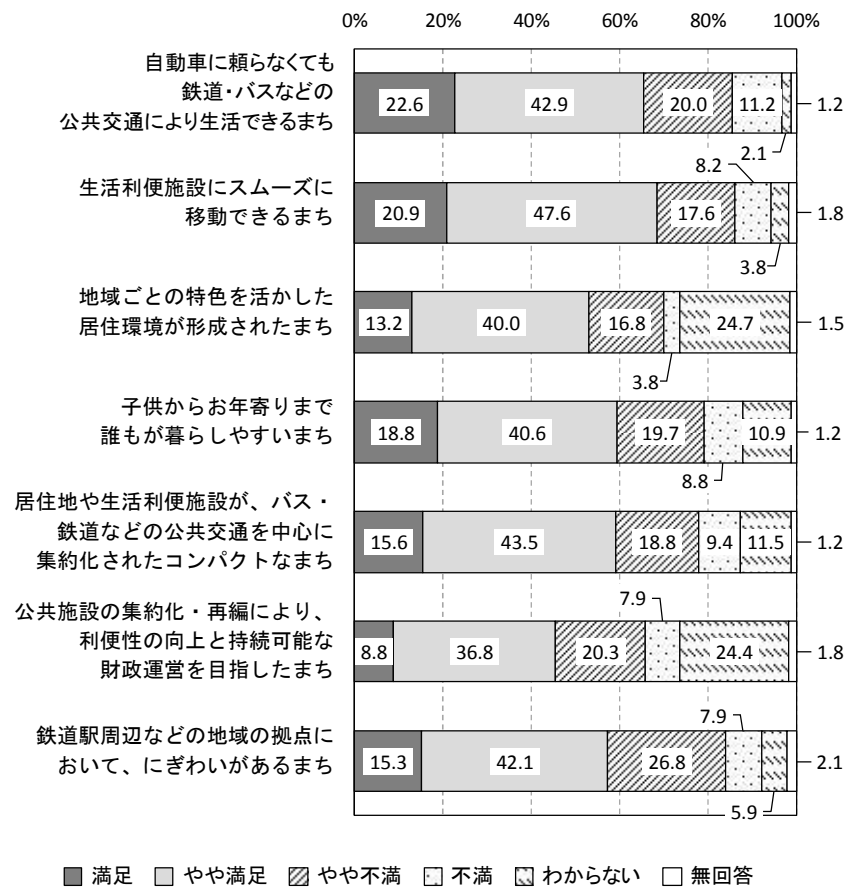


(※回答者の中で利用者が多い施設を抜粋してグラフを掲載)

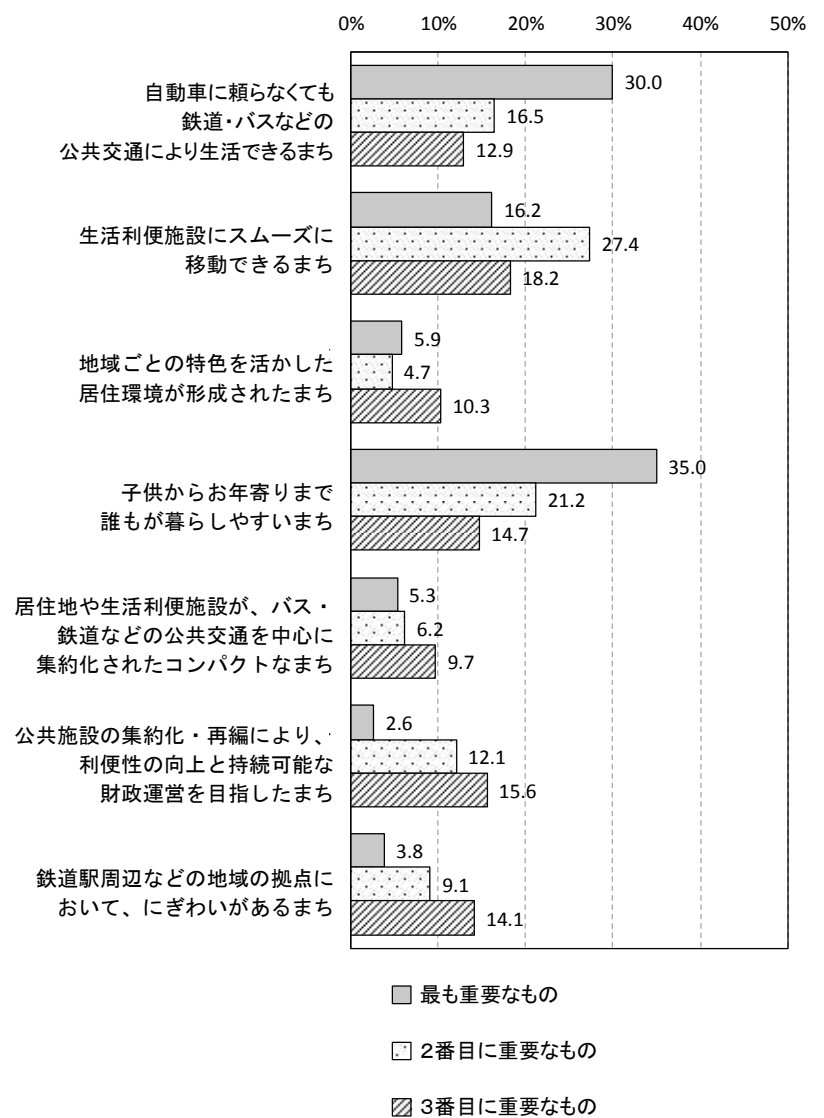
問 次の生活利便施設について、施設ごとに、「今後も現在の居住地で暮らしていくとした場合、どのような交通手段で行ける場所に、その施設があれば良いと思うか」について、選択肢の中から選択してください。(※複数回答可)

今後も現在の居住地で暮らすとした場合に、「徒歩」で行ける場所にあれば良いと思うとの回答が多い生活利便施設は「コンビニ」「スーパー（生鮮食品）」「診療所（普段の診察）」でいずれも60%以上となっています。

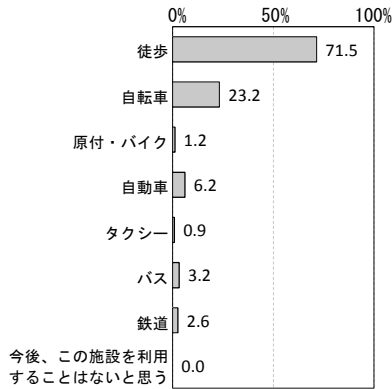
現在のまちづくりについての満足度



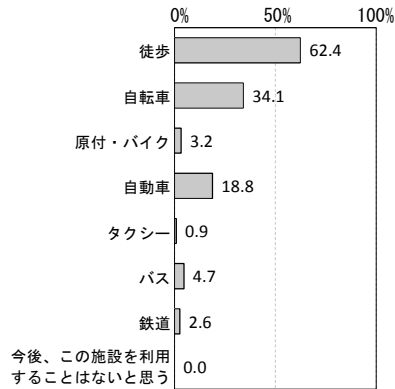
特に重要だと考えるまちづくりの理念



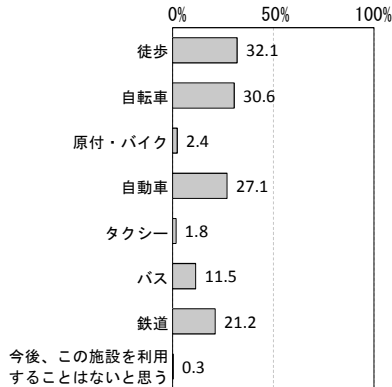
コンビニ



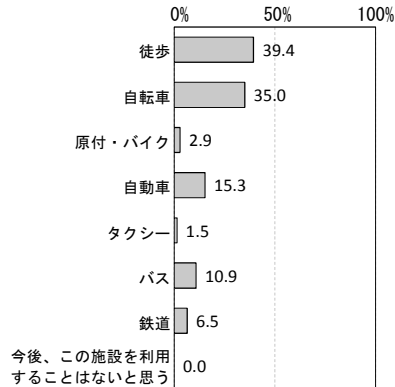
スーパー(生鮮食品)



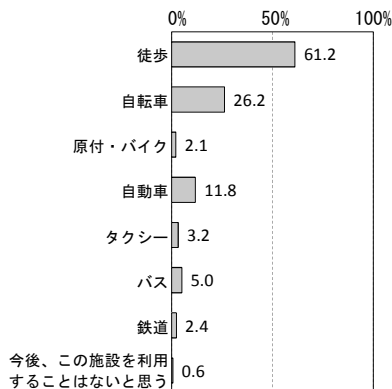
大型商業施設・百貨店など



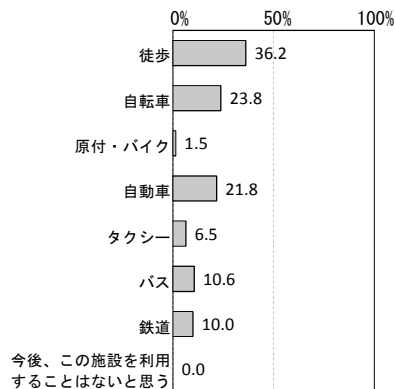
市役所・支所など



診療所(普段の診察)



病院(手術、入院も可能な病院)



(※無回答者が少ない施設を抜粋してグラフを掲載)

【将来のまちづくりについて】

問 西宮市立地適正化計画では、下記のような理念をもとに、西宮市の将来のまちづくりについて検討しておりますが、現在のまちづくりについてどの程度、満足していますか。また、7つのまちづくりの理念のうち、将来のまちづくりにおいて、特に重要だと考える項目について、上位3つまでお答えください。

現在のまちづくりについて、「満足」と回答した割合が最も高いのは「自動車に頼らなくても鉄道・バスなどの公共交通により生活できるまち」で約23%となっています。

また、将来のまちづくりにおいて、特に重要だと考えるまちづくりの理念について、「最も重要なもの」との回答が最も多い理念は、「子供からお年寄りまで誰もが暮らしやすいまち」で約35%となっています。

各選択肢の構成比(%)は小数点第2位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、「※複数回答可」と表記された設問は選択肢の構成比(%)の合計が100%を超える場合があります。